幸崎川・幸田川水系河川整備基本方針

平成１４年５月

岡　　山　　県

幸崎川・幸田川水系河川整備基本方針

目　　次

１．河川の総合的な保全と利用に関する基本方針
　1-1 流域及び河川の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
　1-2 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針 ・・・・・・・・・・ 4

２．河川の整備の基本となるべき事項
　2-1 基本高水並びにその河道及び洪水調節施設への
　　配分に関する事項 ・・・ 5
　2-2 主要な地点における計画高水流量に関する事項 ・・・・・・・・・ 5
　2-3 主要な地点における計画高水位及び計画横断形に係る
　　川幅に関する事項 ・・・ 6
　2-4 主要な地点における流水の正常な機能を
　　維持するため必要な流量に関する事項 ・・・ 6

（参考図）
　幸崎川・幸田川水系図

１．河川の総合的な保全と利用に関する基本方針

1-1 流域及び河川の概要

（河川の概要）

幸崎(こうざき)川はその源を岡山県邑久(おく)郡牛窓(うしまど)町千手(せんず)に発し、低平な水田地帯を緩やかに西流し、清野(きよの)付近で流向を南に変え途中藤井(ふじい)川を合して再度流向を西に変え水門湾(すいもんわん)に注ぐ、流域面積17.6km^2、法河川流路延長7.03㎞の二級河川である。また、幸田(こうだ)川は岡山県岡山市北幸田(きたこうだ)を源に発し、やはり低平な水田地帯を南流し水門湾に注ぐ流域面積6.1km^2、法河川流路延長1.77㎞の二級河川である。

幸崎川並びに幸田川の河川形態については、幸崎川支川の藤井川に一部築堤区間があるものの大半が掘り込み河道となっており、河口水門の影響により流れは緩やかで、１年を通して湛水状態にある。

（気象・地形・地質）

当流域の気候は瀬戸内式気候区に属し、年間降水量は1,200㎜程度である。また夏の夕方、風が止まり非常に蒸し暑くなる時間帯が現れる、いわゆる「瀬戸の夕なぎ」が特徴的である。冬季は比較的温暖で、降雪はほとんどみられない。

幸崎川・幸田川の流域は岡山県南東部に位置し、標高130ｍ内外の小起伏山地と20ｍ以下の丘陵地が入り組んでおり、その間に河谷平野が形成されている。

流域内上流部の山地・丘陵地の地質は、主に中生代の花崗岩類で構成され、また、下流部の平野は沖積層や17世紀頃に造成された干拓地からなっており、主に礫・砂・粘土などから構成されている。

（土地利用）

流域内の土地利用は、幸田川上流域の一部が市街地となっているものの、流域の大半を占める低平地部は主に水田として利用されている。

農用地、森林は都市計画法による市街化調整区域に指定されており、農用地は農業振興地域の整備に関する法律に基づいての指定も行われていることからも、将来にわたり同様の土地利用の形態が予想される。

（治水事業の沿革）

幸崎川・幸田川は低平地を流下する河川であり、とりわけ幸崎川は河積が小さく流下能力が不足しているうえ、その勾配も緩慢であったため、水門湾の潮位と相まって排水不良となり、昭和40年９月台風24号洪水や昭和51年９月台風17号洪水をはじめ、数多くの水害にみまわれている。近年では平成２年９月の台風19号による被害が記憶に新しく、家屋の浸水や農作物への多大な被害が報告されている。

これら頻発する水害に対応するため、昭和46年度より河川改修に着手し、幸崎川2.8㎞（河口から）、藤井川1.9㎞（幸崎川合流点から）の区間で治水安全度の向上を目標に、現在も改修工事が進められている。

また、昭和50年度より着手した高潮対策により、排水量30㎥/sの排水機場と防潮水門が河口に設置されている。なお、排水機場の東側には幸崎川と幸田川を結ぶ連絡水路を設け、双方の河川を一貫管理している。

（河川水の利用）

河川水の利用については、耕地等への灌漑のため取水が行われているが、これらは古くより吉井川からの導水等により補給されている。なお、吉井川からの導水は、現在は坂根堰からの許可水利となっている。

（自然環境）

流域内の植生については、雨量の少ない乾燥気候と、保水力が低く、養分の少ない花崗岩地域や流紋岩地域の土壌の性質から、コバノミツバツツジ、アカマツなどが優占している。

河川勾配が緩慢で水の流れも緩やかなことから水際には、ヨシ、アシボソ、ミゾソバなどが見られ、堤防周辺にはチガヤ、ユウゲショウなどが見られる。

動物の生息状況については、鳥類は河川周辺の主な土地利用が水田であることより、サギ類やセキレイ類が多く見られる。魚類は、水深の浅い区間ではギンブナ、カワムツなどが多く生息し、水深のある区間では比較的大きな魚類であるコイ等も見られる。

水質については、環境基準の類型指定はされていないが、BOD平均値でみると、幸崎川・幸田川で７㎎/l程度、藤井川上流部で３㎎/l程度となっている。

（社会環境）

幸崎川・幸田川流域の人口は約６千人で、のどかな田園地帯である。

幸崎川支川藤井川の上流付近では、毎年６月第１土曜日にほたる祭りが行われており、周辺住民にとって季節を感じる風物詩の一つとなっている。また、周辺を「山南ホタルの里」として、地域の住民などが連携し、良好な自然環境を活かした地域づくりを行っている。

藤井川上流部にある安仁(あに)神社は、吉備地方最高位の古社の一つとされており、1705年（宝永２年）に現在の社地に改築され、境内周辺の山林は県の郷土自然保護地域に指定されており、深々とした杜が堂々たる社殿と調和して、厳粛な雰囲気を出している。

なお、安仁神社では、毎年７月11日に多くの参拝者が、一年の無病息災を祈る「茅(ち)の輪くぐり」の行事が行われている。

1-2 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針

（1）洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項

災害の発生の防止又は軽減に関しては、県内の他河川の計画目標や近年の既往最大降雨である平成２年９月洪水等を勘案して、概ね30年に１度発生する規模の洪水の安全な流下を図る。また、高潮時等の排水不良を解消するため適切な排水対策を講じ、高潮被害の解消や軽減を図る。

さらに、計画規模を上回る洪水等に対しては、洪水被害を軽減しうる危機管理の方策を関係機関等と連携して進める。

（2）河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する事項

河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関しては、動植物の生息・生育環境、景観や親水性など河川環境に配慮した利用が行われるよう努めるとともに、流水の正常な機能が維持されるよう関係機関等と連携しながら河川水の適正な利用が図られるように努める。

（3）河川環境の整備と保全に関する事項

幸崎川・幸田川は、満々と水をたたえた干拓地の掘り込み河道の特徴を、藤井川の大半は隣接した山林などとともに良好な自然環境を備えている。

こうした環境に配慮し、周辺景観に調和する水辺空間の形成に努めるとともに、地域住民が川と親しみ集うことが出来るような水辺空間の整備を目指す。

また、自然豊かな上流部は、関係機関等と連携しながら自然環境の保全に努める。

（4）河川の維持管理に関する事項

河川の維持管理に関しては、災害の防止、河川の適正な利用、流水の正常な機能の維持及び河川環境の整備と保全の観点から適切に対処するものとする。特に水門、排水機場等の河川管理施設についてはその機能が発揮できるよう施設の点検・整備に努めるものとする。

また、渇水等の発生に対しては、情報提供をはじめ関係機関等と連携し被害の軽減に努める。

２．河川の整備の基本となるべき事項

2-1 基本高水並びにその河道及び洪水調節施設への配分に関する事項

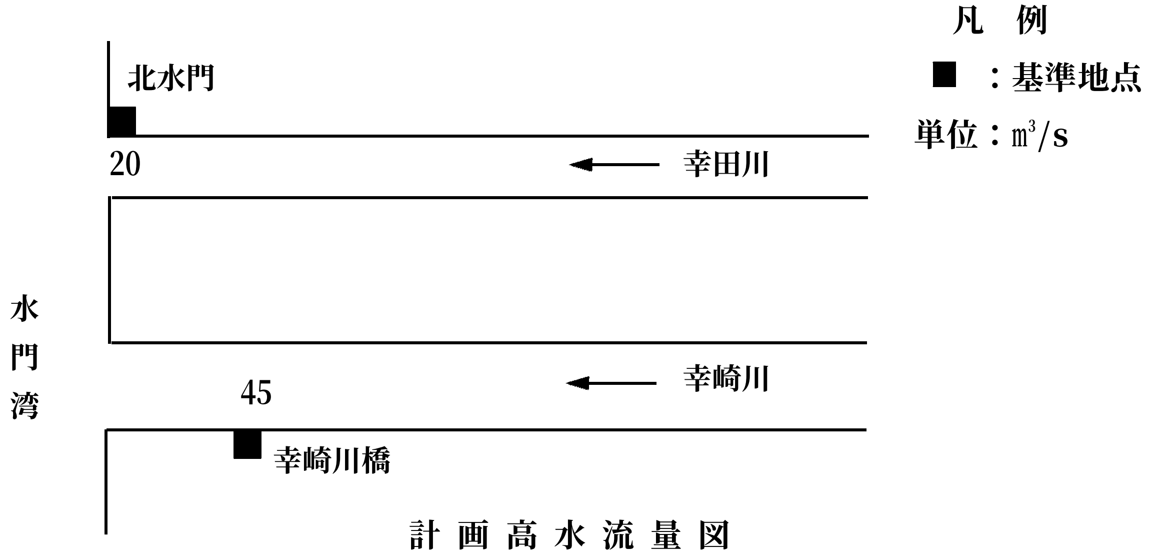
基本高水のピーク流量は、近年において最大出水となった平成２年９月洪水等の既往洪水について検討した結果、幸崎川基準地点幸崎川橋において45㎥/s、幸田川基準地点北水門において20㎥/sとする。

基本高水のピーク流量等一覧表

水系名	基準地点名	基本高水のピーク流量	洪水調節施設による調節流量	河道への配分流量
幸崎川	幸崎川橋	45 ㎥/s	－	45 ㎥/s
幸田川	北水門	20 ㎥/s	－	20 ㎥/s

2-2 主要な地点における計画高水流量に関する事項

幸崎川における計画高水流量は、基準地点幸崎川橋において45㎥/sとし、幸田川における計画高水流量は、基準地点北水門において20㎥/sとする。



計 画 高 水 流 量 図

2-3 主要な地点における計画高水位及び計画横断形に係る川幅に関する事項

本水系の主要な地点における計画高水位及び計画横断形に係る概ねの川幅は、次のとおりとする。

主要な地点における計画高水位及び川幅一覧表

水系名	地点名	河口からの距離 (km)	計画高水位 (T.P.m)	川　幅 (m)
幸崎川	幸崎川橋	0.2	0.06	28
幸田川	北水門	0.0	0.00	12

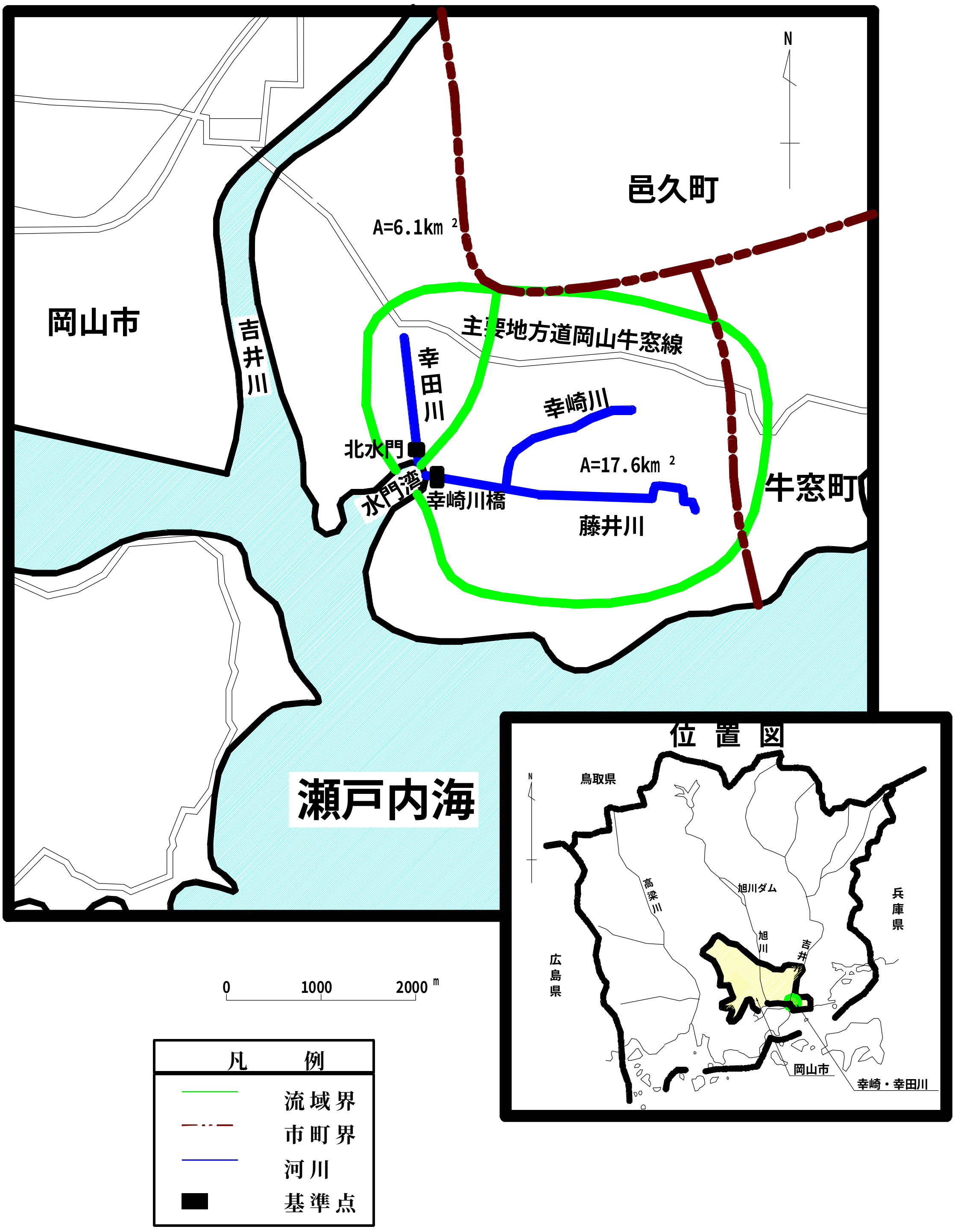
注）T.P.：東京湾中等潮位

2-4 主要な地点における流水の正常な機能を維持するため必要な流量に関する事項

幸崎川・幸田川は、河口水門の影響で河道内は常に湛水しており、水質は引き続き注視していくこととする。

流水の正常な機能を維持するために必要な流量は、吉井川からの流入状況や動植物の保護、景観などに関し、今後さらに調査検討を行うものとする。

なお、当該河川整備基本方針は、今後の気象や社会・経済情勢等の変化に応じて、適宜見直すものとする。


N
邑久町
A=6.1km 2
岡山市
吉井川
主要地方道岡山牛窓線
幸田川
幸崎川
北水門
A=17.6km 2
牛窓町
水門湾
幸崎川橋
藤井川
瀬戸内海
位 置 図
鳥取県
高梁川
旭川ダム
旭川
吉井川
兵庫県
広島県
岡山市
幸崎・幸田川
0 1000 2000 m
凡 例
流 域 界
市 町 界
河 川
基 準 点

幸崎川・幸田川水系図